

荒川自然公園



荒川五丁目グリーンスポット



荒川自然公園



荒川公園

区議会第3回定例会は、9月11日から10月14日までの34日間の会期で開かれました。
本会議の1日目には、4人の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました(要旨は2・3面に掲載しています)。
本定例会では、議案14件が提出されました。このうち平成20年度決算5件は、決算に関する特別委員会を設置して審査を行いました(議案の審議結果は8面に掲載しています)。



区議会第3回定例会
平成20年度一般会計決算ほか
4特別会計決算を認定

掲載記事のご案内

区政のこころを
一般質問要旨

3面・2面
北城貞治議員(自民党)
横山幸次議員(共産党)
中村尚郎議員(公明党)
明戸真弓美議員(自民党)
第3回定例会の日程
会議録検索システム

5面・4面
決算審査の概要
・監査委員による決算審査の報告
・平成20年度主要施策の成果説明(要旨)
・決算の審査経過
・主な総括質疑
・主な締めくくり総括質疑
決算に対する各会派の討論

7面・6面
決算に対する各会派の討論(続き)
委員会活動
・議会運営委員会
・常任委員会
・特別委員会

8面
採択した請願・陳情
請願・陳情とは
議案の審議結果
議席図

区政のしくみをわく

一般質問 要旨

安心できる地域社会づくりと町会助成について



北城 貞治 (自民党)

安心できる地域社会づくりについて
町会助成について

町会助成について
安心できる地域を創る上で、必要不可欠の要素は、地域を構成する人々が、地域・町会の一員であるという自覚を持つこと。奉仕活動を続けてこられた町会の存在と協力なくして「安心できる地域社会を創る」ことは不可能である。そのような視点に立脚した時、区が昨年度から実施している町会に対するイベント助成は、地域の連帯意識の向上等に大きな効果がある。さらなる効果を期待した助成の拡充を図るべきと考える。複数の町会が協力して実施する合同イベントにも助成すべきと考えるがどうか。

町会助成について
安心できる地域を創る上で、必要不可欠の要素は、地域を構成する人々が、地域・町会の一員であるという自覚を持つこと。奉仕活動を続けてこられた町会の存在と協力なくして「安心できる地域社会を創る」ことは不可能である。そのような視点に立脚した時、区が昨年度から実施している町会に対するイベント助成は、地域の連帯意識の向上等に大きな効果がある。さらなる効果を期待した助成の拡充を図るべきと考える。複数の町会が協力して実施する合同イベントにも助成すべきと考えるがどうか。

町会助成について
安心できる地域を創る上で、必要不可欠の要素は、地域を構成する人々が、地域・町会の一員であるという自覚を持つこと。奉仕活動を続けてこられた町会の存在と協力なくして「安心できる地域社会を創る」ことは不可能である。そのような視点に立脚した時、区が昨年度から実施している町会に対するイベント助成は、地域の連帯意識の向上等に大きな効果がある。さらなる効果を期待した助成の拡充を図るべきと考える。複数の町会が協力して実施する合同イベントにも助成すべきと考えるがどうか。

町会助成について
安心できる地域を創る上で、必要不可欠の要素は、地域を構成する人々が、地域・町会の一員であるという自覚を持つこと。奉仕活動を続けてこられた町会の存在と協力なくして「安心できる地域社会を創る」ことは不可能である。そのような視点に立脚した時、区が昨年度から実施している町会に対するイベント助成は、地域の連帯意識の向上等に大きな効果がある。さらなる効果を期待した助成の拡充を図るべきと考える。複数の町会が協力して実施する合同イベントにも助成すべきと考えるがどうか。

教育、子育てに一層の支援強化を、高齢者の介護・医療の負担軽減を



横山 幸次 (共産党)

教育、子育てに一層の支援強化を、高齢者の介護・医療の負担軽減を

教育、子育てに一層の支援強化を、高齢者の介護・医療の負担軽減を

教育、子育てに一層の支援強化を、高齢者の介護・医療の負担軽減を

教育、子育てに一層の支援強化を、高齢者の介護・医療の負担軽減を

教育、子育てに一層の支援強化を、高齢者の介護・医療の負担軽減を



【第3回定例会日程】

9月11日	本会議
9月14日	本会議
9月15日	決算に関する特別委員会
9月17日	総務企画委員会 福祉・区民生活委員会
9月24・28・29・30日	文教・子育て支援委員会 建設環境委員会
10月2・5・6・7日	決算に関する特別委員会
10月9日	議会運営委員会
10月14日	本会議

詳細については現在作成中の会議録がほしい、区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。また、荒川区議会ホームページ (<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>) や平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。あわせてご利用ください。



教育問題と南千住地域の諸課題について



中村 尚郎 (公明党)

教育問題について

多様な障害を持つ児童生徒のために、通常学級、特別支援学級、通級指導教室など、多様な教育の場の用意や、きめ細かな対応が肝要であるが、特別支援教育の課題への対応及び今後の取り組みについて、区の見解を問う。

答 区では、特別支援教育支援員等の配置や各学校における校体制の充実を図り、きめ細かく対応する教育の充実に努めてきた。指導者の育成が重要と受け止め、特別支援教育コーディネーターや教員対象の研修等、各学校での指導のさらなる充実に努めていく。

問 区域内の配置状況と地域の需要動向、通学距離や学校施設状況の状況などについて、区の見解を問う。

答 特別支援学級の適正な配置は、重要な課題と認識しており、区内の配置状況と地域の需要動向、通学距離や学校施設状況の状況などを勘案し、区内全体の配置のあり方を検討していきたいと考えている。

問 南千住地域の諸課題について

答 南千住駅前には設置される(仮称)南千住区民事務所では、機能を拡充し、乳幼児・子ども医療の事務や各種相談など、これまでの区民事務所から一歩進んだ区民ニーズにあったサービスを提供すべきと考えるがどうか。

答 (仮称)南千住区民事務所は、現在、開設に向けた検討・準備を進めており、提案の様々な事務業務の検討を含め、区民ニーズに対応したサービスの提供できるように、問題意識を持って、最大限の努力をしていく。

問 南千住東部地域の子育て支援事業を一層充実させるため、道路工事事務所となっている旧南千住幼稚園跡地を「認定子ども園」として整備し、併せて在宅の子育て支援の充実を図るがどうか。

答 区は、南千住駅を中心とした東西一体の総合的な街づくりの必要性を認識しており、さらなる地域活性化に向け、今後、国の制度や先進事例等を調査していく。

問 公会計制度改革について

答 区は、南千住駅を中心とした東西一体の総合的な街づくりの必要性を認識しており、さらなる地域活性化に向け、今後、国の制度や先進事例等を調査していく。

若者をはじめ、幅広い世代が交流できる公共的空間づくりと商店街振興について



明戸 真弓美 (自民党)

若者をはじめ、幅広い世代が気軽に交流できる公共的空間づくり

問 荒川区には「地域コミュニティの拠点」としてふれあい館があり、サロンスペースや様々なイベントで利用者が世代を超えた交流を図っているが、ふれあい館を人と人をつなぐ拠点、人と地域をつなぐ拠点といった日常的な公共空間の一つの場として積極的に活用してはどうか。また、ふれあい館において、地域の魅力やスポーツの紹介、イベント等の情報交換をしたり、ふれあい館での交流をサポートする人材として地域に密着して活動しているボランティアの方々の力を借りてはどうか。

答 空間の一つの場として積極的に活用してはどうか。また、ふれあい館において、地域の魅力やスポーツの紹介、イベント等の情報交換をしたり、ふれあい館での交流をサポートする人材として地域に密着して活動しているボランティアの方々の力を借りてはどうか。

問 商店街振興について

答 都電荒川線は数年後に開通から100年を迎える。都では記念イベント等を検討し始めたようだが、区としても「都電と商店街」をPRし、「荒川遊園」や「バラの市」等の観光客を都電荒川線沿

線の商店街に誘導するため、街区案内板に商店街の表示をしてはどうか。観光客を商店街に誘導する施策について、区の見解を問う。

答 区では、区内商店街の魅力の発信に努めており、イベント客の商店街への誘導は商業振興、地域の活性化の観点から極めて意義があるため、多くの観光客が商店街に足を運びたいようになるような取り組みを行っていく。街区案内板への商店街の表示は、駅前や商店街の近くなどから取り組んでいく。

問 これから商店街が生き残っていくためには、商店街の活動を支える自主財源の確保といった視点が欠かせない。有料装飾灯広告など自主財源につながる施策を積極的に推進してはどうか。

答 都では広告物を活用した商店街活性化の仕組みづくりと屋外広告物規制の弾力的な運用の検討をしている。商店街が新たな自主財源を獲得することは、商店街の活性化に役立つものであるため、商店街の活性化に役立つものがあるため、都の新たな施策の情報を収集し、区として行うべきことについてしっかりと取り組んでいく。

問 地域住民で商店街をサポートできる仕組みとして実施した商店街サポーター制度事業の検証と今後の展望について問う。

答 試行した商店街サポーター事業では、空き店舗の活用や他の商店街との連携等の提案がされ、共通する問題意識を持つことができたが、時間や労力の面で負担も多かった。今後は、より小規模なサポーター制度構築の検討とともに、課題と対応策の研究を深めていきたいと考えている。

問 その他の質問項目

○幼児教育・児童事業の充実

○区民の安心・安全について

会議録検索システムを ご利用ください。

荒川区議会ホームページの「区議会会議録の閲覧」では、平成20年4月以降に開会した本会議及び委員会の会議録を掲載しています。会議の種類を指定して閲覧する方法のほか、キーワードによる検索や発言者による検索をすることもできます。また、それぞれの本会議、委員会の資料を閲覧することもできます。

なお、平成13年第1回臨時会から平成20年第1回定例会までの本会議録については、ホームページの「本会議録の検索」からご覧いただくことができます。ぜひご利用ください。



ホームページアドレス
<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>

平成21年荒川区議会第4回定例会は
11月27日に開会する予定です。

平成20年度決算を認定 決算に関する特別委員会

平成20年度一般会計歳入歳出決算ほか4特別会計歳入歳出決算は、議長・監査委員を除く全議員で構成される決算に関する特別委員会(委員長=若林清子、副委員長=武藤文平)を設置し、9月24日から10月7日まで審査を行い、いずれも認定することに決定しました。



監査委員による決算審査の報告

平成20年度決算につきまして、区長から提出されました、各会計歳入歳出決算書その他地方自治法に定める書類等について、去る7月22日から8月28日まで審査を実施いたしました。その結果、決算計数に誤りはなく、各会計の決算内容、予算の執行状況等も適正と認められましたので、その旨の意見書を8月28日に区長あて提出いたしました。

審査意見書において述べておりますが、区財政の運営は、収支状況及び各種財政指標が示すとおり、健全化が着実に進んでおり、評価できるものです。しかしながら、今後、財政需要の増大がますます見込まれる一方で、世界的な不況という経済情勢が、区財政にも大きな影響を及ぼすことが考えられ、歳入の確保と、効率的・効果的な事務処理に一層努めていく必要があります。特に、収入未済については、解消に向け適切な措置を講じ、積極的な対応に努めていただきたいと改めて申し上げる次第であります。

区では、国が進める新たな地方公会計制度にも積極的に取り組み、平成19年度決算より、貸借対照表、行政コスト計算書などの財務諸表を作成いたしました。こうした財務書類の分析なども活用し、基本構想に掲げられた「幸福実感都市 あらかわ」の実現に向け、一層強固で弾力的な財政基盤の確立に努められるよう望むものであります。なお、平成20年度の財務に関する事務の執行等に関して実施した

平成20年度 荒川区主要施策の成果説明 (一部抜粋・要旨)

生涯健康都市

●地域ぐるみの健康づくり推進事業
健康づくり自主グループの育成支援、あらかわ満点メニューの開発、健康応援店の拡大など、地域での健康づくり活動を支援した。

子育て教育都市

●あらかわキッズコール24
24時間・365日電話により、子育て全般について専門家の相談を無料で受けられる「あらかわキッズコール24」を開設した。

産業革新都市

●産学連携推進事業
都立産業技術高等専門学校と連携して、「モノづくり技術向上支援事業」を実施した。また、国立大学法人山形大学工学部との間に、相互発展と産業界と地域の振興等を目的とした連携協力に関する協定を締結した。

環境先進都市

●エコセンターの建設
環境学習の場や環境に関する情報の提供を行い、環境施策を総合的に推進するため、区民等の環境活動の拠点となるあらかわエコセンターを設置した。

文化創造都市

●芸術・文化振興プラン策定事業
荒川区の芸術文化振興施策を体系化し、基本的考え方・方向性を示した芸術文化振興プラン(素案)を策定した。

安全安心都市

●地域防災計画の修正
東京都地域防災計画等との整合性を図るなど、荒川区地域防災計画の修正案を作成した。

決算の審査経過

- 一般会計歳入歳出決算(9月24日～10月6日)
- 9月24日 ○監査委員意見(菅谷安男監査委員)
- 決算の概況説明(副区長)
- 主要施策の成果説明(副区長)
- 総括質疑(7会派)
- ※主な質問項目は別掲
- 9月28日 ○歳出審査(議会費・総務費)
- 9月29日 ○歳出審査(総務費)
- 9月29日 ○歳出審査(民生費)
- 9月30日 ○歳出審査(民生費・衛生費・環境清掃費)
- 10月2日 ○歳出審査(産業経済費・土木費)
- 10月5日 ○歳出審査(土木費・教育費)
- 10月6日 ○歳出審査(教育費・公債費・諸支出金・予備費)
- 歳入審査
- 締めくり総括質疑(7会派)
- ※主な質問項目は別掲
- 採決
- 採決の結果
- 認定することに決定
- 国民健康保険・老人保健医療・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算(10月6日)
- 審査
- 採決
- 採決の結果
- 認定することに決定
- 介護保険事業特別会計歳入歳出決算(10月6日)
- 審査
- 採決
- 採決の結果
- 認定することに決定
- 外郭団体に関する調査(10月7日)

主な総括質疑

自民党

並木 一元 委員

- ・ 新型インフルエンザ対策に関する最新情報について
- ・ 小中学校等における新型インフルエンザの集団感染対策
- ・ 新しく整備される尾竹橋公園について
- ・ 治安のよい街として、今後の区の防犯対策について

自民党

竹内 捷美 委員

- ・ プレミアム付き区内共通お買い物券について

自民党

吉田 詠子 委員

- ・ 放課後子どもプランの運営状況
- ・ 全区校への拡大について
- ・ 区道における電線類の地中化の推進について

公明党

吉田 詠子 委員

- ・ 乳がん・子宮頸がん検診の受診率向上策の実施について
- ・ サンプル通り整備の進捗状況と今後の予定について
- ・ サンプル通りを中心とした魅力的な街づくりについて

共産党

安部キヨ子 委員

- ・ 高校生の授業料無料化や奨学金給付制度について
- ・ 新年度に保育園入園待機児を出さないための対策について
- ・ 介護保険制度における区独自のサービスを検討すべき

民主・市民

清水 啓史 委員

- ・ ヒートアイランド対策の区としての検証および体制について

元気クラブ

斉藤 裕子 委員

- ・ この20年、必ずしも豊かになっ
- ・ ていない区民生活をどう見るか。

尚志会

小坂 英二 委員

- ・ 議員定数を現在の32人から24人に削減すべき

正論の会

浅川 喜文 委員

- ・ 区内に60余ある鉄道ガード下の修景を改善すべき

総括質疑の模様をご覧になりたい方はDVDを広報課及び各区立図書館で貸し出しますのでご利用ください。

主な締めくくり総括質疑

自民党

鳥飼 秀夫 委員

- ・まちづくり事業の推進と受け皿住宅の必要性について
- ・荒川二丁目における受け皿住宅用地取得の需要予測について
- ・懇談会における複合施設の将来的な展望の視点について
- ・複合施設と周辺道路等の一体的な整備について
- ・日暮里駅と東京スカイツリーを結ぶバスルートについて
- ・区における環境行動計画モデル事業の内容と成果について
- ・温室効果ガス25%削減目標に対する区の認識について

公明党

戸田 光昭 委員

- ・放課後子どもプランと児童クラブの一元化について
- ・吉村昭記念文学館設置における基金の創設について
- ・吉村昭記念文学館と近隣区の文化資産との連携について

共産党

小島 和男 委員

- ・区立南千住保育園の民営化について
- ・公共事業に係わる民間労働者を守る公契約条例について
- ・新型インフルエンザワクチン接種について

民主・市民

瀬野 喜代 委員

- ・総合的な地域福祉活動について
- ・元気クラブ

斉藤 裕子 委員

- ・介護保険行政における民間事業者との信頼関係について

尚志会

小坂 英一 委員

- ・道徳教育の充実と歴史教育の目的について

正論の会

浅川 喜文 委員

- ・監査委員などの報酬1か月分過払いを是正すべき

平成20年度 決算の概要

単位：円

	予算現額	歳入 (収入率)	歳出 (執行率)	歳入歳出差引 残高
一般会計	91,172,511,936	85,668,859,588 (94.0%)	82,460,847,848 (90.4%)	3,208,011,740
特別会計				
国民健康保険事業	25,078,000,000	24,193,058,614 (96.5%)	24,153,203,558 (96.3%)	39,855,056
老人保健医療	2,908,205,000	2,104,646,932 (72.4%)	2,091,199,807 (71.9%)	13,447,125
後期高齢者医療	3,484,000,000	3,000,149,006 (86.1%)	2,994,966,661 (86.0%)	5,182,345
介護保険事業	12,079,803,000	12,139,136,443 (100.5%)	11,833,464,007 (98.0%)	305,672,436
計	134,722,519,936	127,105,850,583	123,533,681,881	3,572,168,702



平成20年度決算をこう評価する

10月14日の本会議において、平成20年度一般会計決算について各会派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

賛成

区民の期待に応えた予算執行を評価、今後も行財政の構造改革への積極的な取り組みを期待

自民党

平成20年度決算では、経常収支比率は75.5%、公債費比率も6%と、引き続き適正な水準を維持している。荒川区の財政状況がここまで改善されてきたのは、わが党が主張し続けてきた徹底した行政改革の断行や事務事業の見直しに区が熱意を持って取り組んできた結果と評価する。

防犯対策では、防犯対策品の配布や購入費助成、暗がり対策、安全・安心ステーションの有効活用などの取り組み、危機管理面でのAED設置や使用訓練実施など、区民が安心して生活できるまちの実現に向け強化していただきたい。健康・福祉及び子育て支援分野では、介護予防の取り組み推進、特別養護老人ホーム待機者解消、介護事業者・介護従事者への実態調査による支援検討、障害者就労支援や中途障害者支援、自殺予防などに向けた取り組みを要望

する。また、放課後子どもプラン全校実施、子育てに関する地域ボランティアへの支援、一時保育やショートステイ事業の充実、新型インフルエンザに関する区の情報の把握・提供などを併せて要望する。教育では、学校パワーアップ事業のさらなる充実、国語力向上策のためのカリキュラムの研究などの取り組みを要望する。また、給食後の歯磨き全校実施、部活動の指導者確保、区立図書館や学校図書館の充実、吉村昭記念館の実現に向けても要望する。

商業振興については、プレミアム付き区内共通買い物券の対象店舗拡大、販路拡大に向けたホームページ作成支援を要望する。観光振興・地域振興では、日暮里駅前広場での継続的なイベント開催、日暮里織維街への「まちの駅」機能などの配慮を要望する。また、町会助成・イベント助成の増額や合同イベントへの助成も要望する。さらに、荒川二丁目複合施設では、建物や周辺道路との一体的な整備をお願いする。決算全般では、予算目的を達成し、区民の期待に応えた予算執行であると判断した。これからも、区民サービスの向上を目指し、行政改革の実施や事務事業の総点検など行財政の構造改革に積極的に取り組み、区民が真に幸福を実感できる荒川区の実現に向けて全力を尽くしていただきたい。

賛成

区財政の着実な改善を評価、区独自の財源確保も視野に入れた今後の財源確保を要望

公明党

平成20年度予算は、「幸福実感都市あらかわ」の構築に向けてさらなる前進を図る予算として執行されてきた。この予算に対する決算を見ると経常収支比率、公債費比率ともに健全な状況にあり、特

別区債の償還も堅実に進んでいる。結果、基金残高は増加、起債残高は減少し、プライマリバランスも黒字となり、区の財政は着実に改善し、好転していると考えられる。しかし、少子高齢化が進む中で

行政需要の増加が見込まれる中、基金や起債は財政バランスを考慮して活用すべきである。また、景気後退の中、歳入の47.4%を占める特別区財政調整交付金の減額が危惧される。区独自の財源確保も視野に今後の財源確保に万全を期するよう強く要望する。

わが党は、今までもそしてこれからも生活者の目線で区民の幸せのため、区の発展のため尽力していくことを述べ、賛成の討論とする。

店街支援、隅田川駅セメントサイロ跡地利用検討、汐入地域における信号機設置、子宮頸がんワクチン接種導入や女性特有のがんに対する検診充実、荒川二丁目複合施設を中心としたサンパールの道の整備、放課後子どもプランの全小学校への拡大、吉村昭記念文学館基金の創設などの要望・改善を提案した。

反対

区民に一番近い地方自治体として、切実な区民生活を擁護する役割を果たすべき

共産党

本決算は、歳入総額856億円、基金総額も300億円に達するが、一方、区民は増税と負担増に加え、原油価格や穀物の高騰で暮らしを圧迫されており、区民生活を擁護する地方自治体の役割が問われた。

具体的問題の第一は、社会保障の削減と経済不況が進む中で、生活困窮層が増大しているが自治体として独自の取り組みが不十分な点である。就学援助の基準緩和、ふるわり200などは評価するが、保育園確保が後手に回ったことなど指摘せざるを得ない。第二に社会保障の抑制による医療・介護・障害者福祉サービスの提供が実態に合わない問題があり、区に対しては紙おむつ支給要綱の改善を求める。また、区民の健康の問題として、社会保険の家族の方が受けられる健診の検討を求め

る。第三に営利主義と低価格競争を放置すると、働く方や区民の幸せはつけないと訴える。よりよい区民サービス提供のため、区の仕事の労働条件の担保を行う「公契約条例」の制定を求める。第四に環境と受動喫煙の問題だが、禁煙区域を守ること、CO2の削減などしっかりと取り組むことを求める。第五に中小企業の資金繰りは深刻であり、対策は急務である。最後に教育行政では、父母負担の軽減や少人数学級に踏み出すべきである。また全児童放課後プランの実施をすすめ、学童保育を一律廃止しようとすることは容認できない。

区民の幸せのため、富の再配分を行う自治体の機能の発揮を求め、反対討論とする。

賛成

各分野での区民のための取り組みを評価、施策における各部署の連携の強化を求める

民主・市民

平成20年度においては、世界同時金融危機に対し、「緊急経済対策本部」を立ち上げ、雇用対策などの迅速な対応を評価する。

また、特別養護老人ホーム経営支援補助などの高齢者対策事業、

「あらかわキッズコール24」の開設や「学校パワーアップ事業」などの子育て・教育事業、日暮里駅前広場における文化事業など、各分野において区民のための新たな取り組みがされている。より一層、

反対

民間委託一辺倒を再検証すべきとき。思い切った財政出動で区民を支援せよ。

元氣クラブ

昨年度は、十分な検証もなく、保育園給食の民間委託が6園に拡大する問題があった。財政削減効果は1園あたり170万円で、政策的に見て、将来に禍根を残す判

断だった。さらに区立幼稚園での3歳児保育実施は、職員体制が非常勤であり、専門職での非常勤拡大は到底納得できない。アメリカ発の経済金融危機の

賛成

区民本位の施策の展開を評価、より一層効率的、効果的な施策を要望

尚志会

各分野で区民本位の施策の着実な展開を図った決算を評価した上で、今後の課題を述べる。

まず、新型インフルエンザ対策について、地域の医療機関の負担軽減と感染拡大防止に資する新たな取り組みとして、希望者に対し、

学校、幼稚園、保育園における新型インフルエンザワクチン接種を要望する。議会費においては議員

賛成

指摘した区政改革について改善や実施されることを期待して賛成

正論の会

平成20年度決算の認定に同意した上で、以下の点を指摘する。

まず、教育に関し、「道徳教育」の補助教材「心のノート」が廃止された場合も、区独自に補助教材を配布すべきである。道徳教育の推進は「安心安全」の荒川区政の根幹である。道徳教育の副教材として、橋本左内の「子供でもわかる啓発録」は参考になると考える。

次に、犬猫等の動物愛護について、区民への啓蒙活動の徹底を望む。良好な生活環境は人間のパートナーである犬猫にとっても必要。この他、都営住宅内のグループホーム設置、肝炎ウイルス検査の徹底、市街地再開発事業の定期的検証と評価の公表などを質疑し、来年度予算に計上し実現することを追った。

委員会活動

3月18日～10月14日

平成21年第1回定例会終了後から平成21年第3回定例会最終日までの間の各委員会の活動状況をお知らせします。

議会運営委員会

- 4月8日 人事異動について
- 5月19日 第1回臨時会について
- 5月19日 委員会委員の改選等について
- 5月25日 議会日程について
- 5月25日 第1回臨時会について
- 5月28日 常任委員、議会運営委員の改選及び特別委員の選任について
- 5月29日 第1回臨時会最終日について
- 5月29日 議会日程について
- 5月29日 正副委員長を互選
- 6月3日 第2回定例会について
- 6月15日 第2回定例会について
- 6月30日 第2回定例会最終日について
- 7月22日～24日 今後の議会日程について

常任委員会

- 4月16日 人事異動について
- 【所管調査事項】
- ・(仮称)荒川区自治総合研究所の設置
- ・区内視察調査(大規模商業施設の出店予定地)
- 5月12日～13日 区外所管施設調査(旧八ヶ岳学校キャンプ場)
- 5月20日 【所管調査事項】
- ・町屋一丁目用地及び南千住四丁目用地の活用策
- ・荒川区シンボルキャラクターの制作
- 5月26日 特別区人事委員会勧告
- 5月29日 【議案審査】4件
- 5月29日 正副委員長を互選
- 6月4日 理事者の紹介
- 6月4日 委員会所管の組織及び分掌事務
- 6月4日 第2回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・日暮里織維街活性化策策定のための調査検討結果

総務企画委員会

- 6月4日 第3回定例会最終日について
- 6月4日 議会日程について



旧八ヶ岳学校キャンプ場

福祉・区民生活委員会

- ・平成21年度区立幼稚園等・小学校の就学状況 ほか
- 4月28日
- ・区内視察調査（荒川区認証保育所開設予定地）
- 5月22日
- 【所管調査事項】
- ・「ノーテレビ・ノーゲーム・ノーメールアドレス」の取り組み
- 5月26日
- ・平成20年度包括外部監査結果
- 5月29日
- 【議案審査】1件
- 5月29日
- ・正副委員長を互選
- 6月5日
- ・理事者の紹介
- ・委員会所管の組織及び分掌事務
- 【所管調査事項】
- ・荒川総合スポーツセンターの指定管理者の選定
- 7月15日
- 【議案審査】1件
- 7月15日
- ・区内視察調査（日暮里織維街及び日暮里区民事務所隣接地等）
- 【所管調査事項】
- ・旧道灌山中学校跡地・施設の暫定利用の延長
- 9月1日
- ・第3回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置
- ・明らかわエコセンターにおける上水大量流出 ほか
- 9月15日
- 【議案審査】4件
- 【所管調査事項】
- ・平成21年度行政評価の結果報告
- ・平成20年度荒川区包括年次財務報告書

- 4月2日～3日
- ・区外所管施設調査（ホテルニユーアカオ）
- 4月16日
- ・人事異動について
- 【所管調査事項】
- ・介護サービス事業所雇用創出補助事業の実施
- ・荒川区重症心身障がい児者留守番看護師派遣事業 ほか
- 5月20日
- ・第1回臨時会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・荒川区民会館（サンパル荒川）アスベスト除去工事
- ・高齢者家賃等助成事業
- 5月26日
- 【議案審査】1件
- 5月29日
- ・正副委員長を互選
- 6月4日
- ・理事者の紹介
- ・委員会所管の組織及び分掌事務
- ・第2回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・南千住駅前ふれあい館の設置及び管理運営
- ・社会保険等の保険者による被扶養者の健診における健診項目の追加 ほか
- 6月22日
- 【議案審査】8件
- 【所管調査事項】
- ・平成21年度の後期高齢者医療保険料の軽減対策
- 7月15日
- 【陳情審査】1件
- 9月1日
- ・第3回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・住宅手当緊急特別措置事業の実施
- ・女性特有のがん検診の実施 ほか

- 9月15日
- ・東京都後期高齢者医療広域連合における保険料率見直し作業の着手
- 【所管調査事項】
- ・平成21年度荒川区健康週間事業の実施

建設環境委員会

- 3月23日
- 【所管調査事項】
- ・京成日暮里駅南口改札の開設
- ・荒川区住宅マスタープラン（案）の策定 ほか
- 4月21日
- ・人事異動について
- 【所管調査事項】
- ・荒川区環境審議会及び荒川区生活環境審査会の設置
- ・明らかわバラの市の開催 ほか
- 5月22日
- 【陳情審査】2件
- 5月28日
- 【所管調査事項】
- ・路上喫煙禁止地区の指定
- ・三河島駅前地区の再開発
- 5月29日
- ・正副委員長を互選
- 6月5日
- ・理事者の紹介
- ・委員会所管の組織及び分掌事務
- ・第2回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・新たな荒川区バリアフリー基本構想の策定
- ・荒川区景観計画の策定
- 6月25日
- 【議案審査】1件
- 【所管調査事項】
- ・日暮里駅総合改善事業の経過と最近の動向

- ・ブロック塀等の改修助成制度の創設 ほか
- 7月16日
- 【所管調査事項】
- ・JR貨物(株)隅田川駅構内における改良計画
- ・「明らかわ緑・花大賞」制度の創設 ほか
- 8月4日
- 【所管調査事項】
- ・リサイクルセンター
- ・建築確認構造計算書偽装に係る損害賠償請求訴訟 ほか
- 9月2日
- ・第3回定例会提出予定案件
- 【所管調査事項】
- ・地球温暖化対策推進に向けた電気自動車区と区民による共同利用
- ・区内視察調査（日暮里駅総合改善事業の進捗状況）
- 9月17日
- 【議案審査】1件
- 【所管調査事項】
- ・荒川遊園大型遊具安全総点検
- ・まちづくり交付金事後評価原案のパブリックコメント実施

- ・前委員会の活動状況
- ・委員会の活動方針
- 【調査研究事項】
- ・荒川区の防災事業概要
- 6月16日
- ・委員長会の協議事項
- 【調査研究事項】
- ・荒川区における新型インフルエンザ対策
- ・荒川区の防犯対策の概要
- 7月17日
- 【調査研究事項】
- ・平成21年度荒川区総合震災訓練の実施
- ・新型インフルエンザの相談・医療提供体制の変更に伴う区の対応
- ・区外関連施設を視察（東京消防庁第六消防方面本部消防救助機動部隊（ハイパーレスキュー））

- ・三河島駅前地区の再開発
- ・旧真土小学校跡地活用検討基礎調査
- 5月29日
- ・正副委員長を互選
- 6月9日
- ・理事者の紹介
- ・前委員会の活動状況
- ・委員長会での協議事項
- ・委員会の活動方針
- 【調査研究事項】
- ・旭電化跡地利用の現況
- ・旧道灌山中学校跡地利用の現況
- ・旧真土小学校跡地利用の現況
- ・三河島駅前地区の再開発 ほか
- 9月3日
- 【調査研究事項】
- ・旭電化跡地の事例に類する事業・用地の現況

観光・文化推進調査特別委員会

- 4月24日
- ・人事異動について
- 【調査研究事項】
- ・荒川区芸術文化振興プラン（素案）
- ・奥の細道紀行320年事業の実施 ほか
- 5月29日
- ・正副委員長を互選
- 6月10日
- ・理事者の紹介
- ・前委員会の活動状況
- ・委員会の活動方針
- ・委員長会の協議事項
- 7月21日
- 【調査研究事項】
- ・明らかわキャラバン事業 東京荒川少年少女合唱隊 福島市・荒川区ジョイントコンサートの実施
- ・荒川区の主な観光スポット



消防救助機動部隊

特別委員会

震災対策・危機管理調査特別委員会

- 4月27日
- ・人事異動について
- 【調査研究事項】
- ・自衛隊ヘリの夜間離着陸訓練 ほか
- 4月20日
- ・人事異動について
- 【調査研究事項】
- ・旧道灌山中学校跡地利用
- ・区外関連施設を視察（東京スカイツリー）
- 5月15日
- 【調査研究事項】
- ・東尾久浄化センター主ポンプ棟及び関連下水幹線の整備状況等

拠点開発調査特別委員会

- 4月20日
- ・人事異動について
- 【調査研究事項】
- ・旧道灌山中学校跡地利用
- ・区外関連施設を視察（東京スカイツリー）
- 5月15日
- 【調査研究事項】
- ・東尾久浄化センター主ポンプ棟及び関連下水幹線の整備状況等

文教・子育て支援委員会

- 4月21日
- ・人事異動について
- 【所管調査事項】
- ・新生児・3歳児に対する絵本の贈呈
- 9月17日
- 【議案審査】4件
- 【所管調査事項】
- ・南千住地域における認証保育所事業者の第2回公募
- ・放課後子どもプラン事業の実施校拡大

- 9月17日
- 【議案審査】4件
- 【所管調査事項】
- ・南千住地域における認証保育所事業者の第2回公募
- ・放課後子どもプラン事業の実施校拡大

採択した請願・陳情

採択

・南千住3-36倉庫敷地での、強行的な墓地建設に反対する陳情

請願・陳情とは

請願・陳情は、区政に関する意見や要望を、議会に対して文書で提出する制度です。請願とは区議会議員が請願内容に賛意を表し紹介議員となっているものをいい、陳情は紹介議員のないものを行います。荒川区議会では請願も陳情も、原則として同じ取り扱いをしています。請願・陳情は、区民に限らず、どなたでも提出することができます。

提出された請願・陳情の審査は、本会議で、関係の委員会に付託されます(付託とは、審査を委託することです)。委員会では慎重に審査された結果、結論が出た請願・陳情は、本会議で議決を行います。

内容について、議会として賛成できるものは「採択」、全部は賛成できないが一部について賛成できるものは「趣旨採択」、賛成できないものは「不採択」とします。賛成した内容は区の仕事に生かすよう執行機関に伝えます。内容が、国や東京都などが行う仕事の場合は、意見書や要望書を出すこともあります。また、議決の結果は請願・陳情者の代表の方にお知らせしています。

なお、郵送または代理人が提出した陳情(陳情者が心身等の障害のため提出できない場合を除く)や私人間の紛争に関する陳情などは審査されず、参考配付のみとなる場合があります。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

内線3614



議案の審議結果

平成 21 年第 3 回定例会

○ 賛成 × 反対 - 退席

太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は会派人員)							結果	議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は会派人員)							結果	
	自由民主党荒川区議会議員団	公明党荒川区議会議員団	日本共産党荒川区議会議員団	民主党・市民の会	あらかわ元気クラブ	尚志会	あらかわ正論の会			自由民主党荒川区議会議員団	公明党荒川区議会議員団	日本共産党荒川区議会議員団	民主党・市民の会	あらかわ元気クラブ	尚志会	あらかわ正論の会		
区長提出議案 (14 件)									第55号	財産の取得(汐入東小学校及び汐入こども園初度調弁に伴う給食室備品)について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第48号	荒川区女性福祉資金貸付条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決	第56号	財産の取得(汐入東小学校初度調弁に伴う木製什器等)について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第49号	荒川区立保育所条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	可決	認定第1号	平成20年度荒川区一般会計歳入歳出決算	○	○	×	○	×	○	○	認定
第50号	荒川区区民ひろば館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決	認定第2号	平成20年度荒川区国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	×	○	×	○	○	認定
第51号	荒川区学童クラブの運営に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決	認定第3号	平成20年度荒川区老人保健医療特別会計歳入歳出決算	○	○	×	○	×	○	○	認定
第52号	荒川区手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決	認定第4号	平成20年度荒川区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	×	○	×	○	○	認定
第53号	平成21年度荒川区一般会計補正予算(第2回)	○	○	○	○	○	○	可決	認定第5号	平成20年度荒川区介護保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	×	○	×	○	○	認定
第54号	平成21年度荒川区介護保険事業特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	可決										

○議席に変更がありました

本会議場 議席図 (平成 21 年 9 月 11 日現在)

事務局書記					事務局長	議長	福祉部長	健康部長	子育て支援部長	総務企画課長	財政課長
会計管理部長	土木担当部長	土木部長	都市整備部長	環境清掃部長			総務企画部長	管理部長	区民生活部長	産業経済部長	産業活性化担当部長
代表監査委員	選挙管理委員長	教育次長	教育長		演壇		区長	副区長	副区長		
					速記者						
23 浅川喜文		22 斉藤裕子			11 竹内捷美	10 若林清子	9 茂木 弘	8 明戸真弓美	1 小坂英二		
	26 瀬野喜代	24 清水啓史			15 斉藤泰紀	14 並木一元	13 服部敏夫	12 小坂眞三	3 安部キヨ子	2 小林行男	
29 中村尚郎	28 保坂正仁	27 吉田詠子			19 鳥飼秀夫	18 守屋 誠	17 北城貞治	16 菅谷安男	5 斉藤邦子	4 横山幸次	
32 武藤文平	31 戸田光昭	30 萩野 勝			21 志村博司	20 須永京子			7 小島和男	6 相馬堅一	

傍聴席 (80 席)

(凡 例)	自由民主党 荒川区議会議員団	公明党 荒川区議会議員団	日本共産党 荒川区議会議員団	民主党・市民の会	あらかわ元気クラブ	尚志会	あらかわ正論の会
-------	-------------------	-----------------	-------------------	----------	-----------	-----	----------